

緩和ケアは終末期のケアと思っていないませんか？

緩和ケアとは、**診断初期などの早い段階**から、がん等の疾患を抱える患者さんとそのご家族お一人お一人の、体や心など様々なつらさをやわらげ、より豊かな生活を送れることができるように支えていくケアのことです。決して終末期に限定したケアではありません。

※当院では緩和ケアチームのことを「**症状マネジメントチーム (SMT)**」と称しています。



当院の症状マネジメントチーム



初診日は、**月曜午前、金曜午前**です。緊急の場合は、電話でご相談ください（内線：3219）。詳しくは、「緩和ケアチーム 相談のご案内」をご参照ください。

症状マネジメントチームのサポート内容

- 痛み、吐き気、体のだるさなど、病気や治療に伴う身体の症状
- 気持ちが落ち込む、不安、つらい、眠れないなどの心の症状
- 退院後の療養場所、家族の心配事、仕事の事、社会資源の活用、経済面など生活に関する事、意思決定支援等
- その他、本人や家族の気がかりや心配事等について

主治医の先生や病棟看護師と相談しながら、サポートしていきます。

毎週水曜日：カンファレンス、回診をしています。

11:00～カンファレンス（病院2階腎センター前カンファレンスルーム2）

16:00～回診

情報共有や今後のケアなどを話し合っていきますので、主治医や病棟の看護師など、患者さんに関わる職種の方の参加をお待ちしております。



後列左から：篠原相談員、近藤MSW、鍋島看護師、尾崎看護師、井手薬剤師、木村看護師
前列左から：久保医師、塚田センター長、安高GM、白石医師

医療スタッフが患者さんの
支援に困ったら…
緩和ケアセンター
(内線：3219)へ

